

令和3年度一般財団法人埼玉水道サービス公社財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産（リース資産含む）の減価償却の方法

- ① 器具・備品、設備、ソフトウェア
固定資産の減価償却方法は、定額法によっている。
- ② リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

- ① 退職給付引当金
職員の退職給付の支給に備えるため、退職手当に関する規程に基づく算定額（期末自己都合要支給額）から、中小企業退職金共済制度により支給される額を差し引いた額を計上している。
- ② 賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) その他の重要な会計方針

- ① リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始年度が平成24年度以前の取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- ② 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。
- ③ 人件費の仕訳方法の変更
令和3年度より受託業務を事業費に、総務、会計及び人事業務を管理費に区分している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当金資産	86,452,370	13,958,000	1,727,554	98,682,816
小計	86,452,370	13,958,000	1,727,554	98,682,816
合計	91,452,370	13,958,000	1,727,554	103,682,816

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
小計	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当金資産	98,682,816	(0)	(0)	(98,682,816)
小計	98,682,816	(0)	(0)	(98,682,816)
合計	103,682,816	(0)	(5,000,000)	(98,682,816)

4 固定資産（リース資産含む）の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具・備品	2,729,876	1,660,464	1,069,412
車両及び運搬具	1,520,000	126,666	1,393,334
設備	7,869,950	2,229,519	5,640,431
電話加入権	304,900	0	304,900
ソフトウェア	7,142,103	2,725,089	4,417,014
ソフトウェア仮勘定	2,000,000	0	2,000,000
長期前払費用	14,925,743	7,867,406	7,058,337
保証金	17,600	0	17,600
リース資産	240,897,000	138,219,250	102,677,750
合計	275,407,172	152,828,394	122,578,778